

2015年度(平成27年度)事業活動報告書

法人の名称 特定非営利活動法人グリーンママ

1 事業の成果

(1) 育児支援に関する事業

「みどりっこ親子の居場所はなまる」(以下はなまる)「緑区地域子育て支援拠点いっぽ」(以下いっぽ)の運営、『みどりっこカレンダー』『みどりっこひろば』『みどり子育て応援ガイドブック』をとおして子育てに関する情報の提供、緑スポーツセンター定期教室を中心として一時託児等を行い一定の成果を上げた。

平成27年度は、法人設立10年を迎える節目の年となり、今までの活動を振り返る機会が多くあった。

はなまるは、5月にひろばを移転した。新しいひろばが利用しやすい環境になるよう、レイアウトや日にちを決めてのおもちゃの設置など工夫し、提供した。移転に伴い利用登録者の地域差が生じ、新たな利用者に向けての周知が必要となった。27年度から緑区の「赤ちゃん教室・中山会場」の運営進行を受託しており、周知の機会として活用している。

いっぽは、運営期間の区切りの年度であり、平成23年度から5年間の運営期間の事業振り返りを区と行い、成果と課題を上げた。成果としては、ひろば利用者数はほぼ横ばいで推移しており、安定した運営が評価された。ひろばの利用にあたっては保護者が自発的に動ける場面が増えるようスタッフが対応を工夫した。また、支援者のネットワーク作りでは、より有益なネットワークにするためにエリアごとでつながる形を整えることができた。課題としては、区内で子育てをする人でいっぽをまだ利用していない人に向けた支援の充実が上げられた。ひろばの環境・情報提供・ネットワークの活用の視点から解決を考えていきたい。今年度より拠点の事業の一つとして加わった利用者支援事業については、いっぽとしてこの事業をどう進めて行くかをスタッフ間で話し合い、共通の認識を持つことに努めた。1月の事業開始からは専門スタッフ「子育てパートナー」の周知に力をいれた。

(2) 障がいのある子どもと親への支援事業

いっぽ内での「気になる子のサロン」の開催、障がい理解講座を開催した。

(3) 児童及び青少年の健全育成にかかる事業

いっぽにて中学生・大学生のボランティアの受け入れを行い、これから親になる学生が乳幼児とふれあえる機会を提供した。

2 事業内容

(1) 育児支援に関する事業

①「みどりっこ親子の居場所はなまる」の運営

実施日時	月～金曜日 午前9時30分～午後4時30分 土曜日(月1回) 午前9時30分～午後2時30分
実施場所	みどりっこ親子の居場所はなまる
従事者	2人/1日
対象	緑区及び近隣在住の未就学児とその保護者(おもに0～3歳児)
支出額	11,638,097円
事業実績	<ひろば> 年間利用者数(大人・子ども):4,482人(4,605人) ()内数値は 前年度実績 一日当たりの平均利用者数:17.5人(18.8人) 新規登録組数:254組(260組) <一時預かり> のべ預かり児童数:142人(136人) 総利用時間数:463.5時間(437.5時間)

【1年間の報告】

- ・年度当初にひろばが移転したため、まずは場所の周知に務めた。
- ・移転のためひろばの間取りが変わり、スペースを区切ることができるようになった。これにより、2・3歳児と0歳児それぞれが過ごすスペースを確保したり、自由に過ごす場を提供しながらプログラムを行ったりできるようになった。そのため、新しいプログラムを設けることができた。

- ・保護者がひろばの行事に協力するきっかけ作りをし、スタッフと共に行事をもちあげた。協力した保護者達はその後も交流を深め、また、新規利用者に率先して声をかけてくれている。
- ・マタニティー向けの講座等企画し、出産後の利用につながることができた。
- ・『五者連絡会』*1への参加をとおして、区内の親子のひろばとつながり、研修や情報交換することができた。

*1『五者連絡会』：緑区内のつどいの広場3か所と拠点と区によるネットワーク

②「緑区地域子育て支援拠点いっぽ」の運営

ア. 「親子の居場所事業」「子育て相談事業」「情報収集・提供事業」「ネットワーク事業」「人材育成・活動支援事業」「利用者支援事業」

実施日時	火～土曜日 午前9時～午後5時
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽ
従事者	7人/1日
対象	緑区及び近隣在住の未就学児とその保護者、子育て支援に関わる人
支出額	25,940,513円
事業実績	年間利用者数（大人・子ども）：19,791人（18,615人） 一日当たりの平均利用者数：81.7人（76.9人）
（ ）内数値は前年度実績	累計登録者数（子ども）：5,325人（5,458人） 27年度新規登録者数（子ども）：868人（1008人） 新規ボランティア登録30人（53人）うち利用者16人（20人）

【1年間の報告】

- ・年齢層にあわせたプログラムを行うことで、保護者同士が互いに交流しやすい場となった。
- ・同じ悩みを持つ保護者の話し合いや情報交換は、先輩ママが話を聞くピアカウンセリングの場となっており、子育ての不安の解消につながっている。
- ・保護者が、『おたすけMama's』*2や、子どもが利用しなくなった後に「ママボランティア」として、プログラムの企画・運営に関わる機会を作っている。より保護者のニーズにあったプログラムの提供ができるとともに、自らの力を発揮する場となっている。
- ・区内の支援者ネットワークのあり方について、関係機関へのヒアリングを行いながら検討した。緑区を東西のブロックに分け、課題解決に向けた取り組みができる連絡会の形を整えた。
- ・『五者連絡会』*1前出で、互いの情報交換やまた共通の課題に対する研修会をすべての場所のスタッフ全員と行うことで、支援者としてのスキルアップが計れた。
- ・毎月発行している「いっぽ通信」をリニューアルし、初めて見た人でも定例プログラムや相談等がわかるようにした。保護者によるリレートークや身近な情報を掲載するコーナーも設けた。
- ・情報コーナーを地域別、カテゴリー別にファイルし、取り出しやすくした。分類は初めて利用する人にもわかりやすく、という視点で考えた。
- ・利用者支援事業が1月から始まった。この事業は個別のニーズに答えるものなので、相談を受けるための情報の把握を、ひろばスタッフと連携している。
- ・「保護者の子育てする力の向上」のために、ひろばの意義を再度スタッフ間で話し合い確認した。スタッフの役割について共通の認識のもと、保護者の対応にあたっている。

*2『おたすけMama's』：ひろばを利用する保護者によるボランティア活動

イ.「横浜子育てサポートシステム」緑区支部運営

実施日時	火～土曜日 午前9時～午後5時
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽ
従事者	3人/1日
対象	横浜市在住の0歳から小学生とその保護者、子育て支援に関わる人
支出額	8,445,901円
事業実績	会員数：利用会員587人（616人） 提供両方会員262人（272人） 27年度入会者数：利用会員158人（156人） 提供両方会員22人（30人）
（ ）内数値は前年度実績	コーディネート件数：141件（149件） 実働会員数：利用会員のべ899人（951人） 提供・両方会員のべ753人（795人）

事業実績 ()内数値は 前年度実績	活動件数：5,137件(5,577件) 入会説明会：30回実施 178人参加(うち利用会員156人・提供・両方会員22人)(29回 176人) 個別説明：87人参加(利用会員78人 提供・両方会員9人)(71人) フォローアップ研修：2/16 10人参加 交流会：7/15 9人参加 1/19 7人参加 1/29 24人参加 子育てサポート通信：3回発行 「いっぽ保育隊」*3：活動件数40件(50件) のべ活動者140人(150人) 保育子ども337人(350人)
--------------------------	--

【1年間の報告】

- ・利用会員対象のリフレッシュや地区別交流などお試し預かりを工夫することで、利用のニーズを掘り起こし、サポートを利用するきっかけとなって利用が増えた。
- ・サポートスタッフが定期的にひろばに居ることで、利用のニーズを把握し利用に繋げることが出来た。
- ・『おしゃべりタイム』*3を毎月開催し会員交流の機会を増やし、会員の活動の様子などを知ることによって会員の活動を支えることが出来た。
- ・活動件数は前年度対比で1割減少した。保育所の保育時間延長や一時保育施設の増加などで、サポートシステムを利用する人が少なくなったと思われる。今後は就労以外の理由(産前・産後、保護者の通院、育児ストレス解消のためのリフレッシュ等)の利用を広げて行きたい。

*3『おしゃべりタイム』:会員間での情報交換することで、援助活動の不安を取り除く事を目的に毎月開催

③子育てに関する情報の発信・提供

実施日時	通年
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽ
従事者	4人
対象	緑区および近隣の未就学児とその保護者
支出額	1,462,507円
事業実績	『みどりっ子カレンダー』:毎月1000部発行、掲載園18園、配布先39か所 『みどりっこひろば』:随時情報更新 『みどりっこひろば』メールマガジン:毎月発行 389人登録(前年度329人) 『みどり子育て応援ガイドブック』改訂版編集

【1年間の報告】

- ・区内の保育所の地域開放事業を紹介する『みどりっ子カレンダー』では、毎月の特集記事も担当し、当事者視点の記事を掲載している。
- ・インターネットで区内の子育て情報を提供している『みどりっこひろば』では、毎月地区別のメルマガを発行。
- ・緑区が発行する『みどり子育て応援ガイドブック』の改訂版を編集。校了のスケジュールがタイトで区との調整が今後の課題と感じている。

④集団出張保育

実施日時	通年
実施場所	緑スポーツセンターほか
従事者	登録スタッフ 23人
対象	緑区および近隣区の子育て中の保護者とその子ども
支出額	267,950円
事業実績	定期託児：24回実施、保育した子どものべ50人、スタッフのべ49人 (前年度42回 保育子どものべ105人 スタッフのべ91人) 出張保育：7回実施、保育した子どものべ33人、スタッフのべ31人 (前年度7回 保育子どものべ32人 スタッフのべ30人) お話し会：コスモスフェスタ出演

【1年間の報告】

- ・「緑スポーツセンター」定期教室では、上半期託児利用者がいなかったため、実施回数が減少した。はなまるやいっぽにおいても、スポーツセンターに託児付の教室があることの周知に努めた。
- ・保育スタッフ向けの研修として、2/16（火）「手作りおもちゃと遊び方」の講座を開催。提供会員、地域の支援者にも参加を呼びかけ、15名の参加があった（うち出張保育登録スタッフ9名参加）。

⑤地域に向けた子育て支援の促進事業

地域の連絡会等に参加した。区内で子育て支援を行う法人として蓄積した専門性をもとに、地域の子育て力を上げるための提言や、子育て家庭の現状を伝え、理解をすすめている。また、様々なジャンルの他団体との連携を図り、法人が行うそれぞれの事業をより充実したものにすることにつなげている。

<参加している緑区内の委員会・団体等>

- 「緑区要保護児童対策地域協議会」いっぽ、はなまるともに参加
- 「緑区防災ネットワーク運営委員会」（松岡美子）
- 「緑区乳児期の発達支援に関わる機関連絡会」（松岡美子）
- 「十日市場中学校地域交流事業実行委員会」世話人（松岡美子）
- 「横浜市バリアフリー検討協議会 十日市場駅周辺地区部会委員」（松岡美子）
- 「みどり障がい児者ネットワーク」幹事（松岡美子）
- 「緑区市民活動支援センター運営委員会」（松浦千恵）
- 「緑区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会」（松浦千恵）
- 「子育てひろば全国連絡協議会」正会員
- 「十日市場自治会」特別会員
- 「新治西部地区社会福祉協議会」会員
- 「緑区社会福祉協議会NPO等分科会」参加

<市域の活動>

- 「横浜市市民協働推進委員会」委員（松岡美子）

(2) 障がいのある子どもと親への支援事業

実施日時	通年
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽほか
従事者	3人
対象	緑区および近隣の未就学児及び小学生とその保護者、子育て支援に関わる人
支出額	0円
事業実績	気になる子のサロン 年間17回実施・のべ102組219人参加 (前年度 23回実施・のべ131組222人参加) 障がい理解講座 2/4開催 参加者65人

【1年間の報告】

- ・いっぽにて、毎月「気になる子のサロン」を実施。子どもの発達に不安や心配のある保護者同士が、肩の力を抜いて話ができる場となっている。乳幼児期から青年期までの子どもを持つ保護者が参加し、情報交換できる場ともなっている。
- ・「障がい理解講座」として「その子らしく生きるために～自閉症スペクトラムとは～」（講師：吉田友子先生）を開催した。保育を利用しての参加者も多く、地域の子育て支援者も含め、障がいを理解する機会を提供できた。
- ・みどり福祉ホームと十日市場地域ケアプラザと拠点が協力し、小学生の気になる子ども達向けのボードゲームを通じた地域の人たちとの交流の場を作った（月1回実施）。若葉台特別支援学校の高校生がボランティアとして関わり、楽しみながらソーシャルスキルトレーニングを行う機会にもなっている。

(3) 児童及び青少年の健全育成にかかる事業

実施日時	通年
実施場所	緑区地域子育て支援拠点いっぽほか
従事者	3人
対象	地域の中学生・高校生、福祉・子育て関連職に就く者
支出額	0円
事業実績	中学生ボランティア受入れ 46人 大学生ボランティア 6人 インターンシップ受入れ 2人

【1年間の報告】

- ・地域の学生をボランティアとして受け入れ、乳幼児とのふれあいを通して青少年の健全育成につなげた。
- ・「十日市場中学校地域交流事業」に参加し、近隣にある中学校との交流を盛んにし、ボランティアや職業体験の場としての受け入れを行った。
- ・十日市場中学校1年生への職業講話「NPO法人グリーンママによる地域子育て支援」を行い、子育て支援の必要性の理解へとつなげた。